

小学校第2学年 生活科



クラウドで共有した教師や友達の写真も活用しながら、友達と対話し、自分の活動を振り返る。

小学校第2学年 生活科 「もっと大すき わたしたちの町」

■単元の目標

自分たちの町を探検する活動を通して、地域の人や場所の存在や友達に伝えたいことを考え、地域での生活や様々な人や場所と関わっていることや他者と関わることのよさに気づき、**地域に親しみをもって生活したり、他者と進んで交流したりすることができるようにする。**

■単元の概要

春の町探検を振り返ったり探検したりして、もっと町を知りたい、友達に大好きな町を伝えたいと思いや願いを高め、友達と一緒に発見したことを写真を見ながら伝え合う。

■単元の指導計画（22時間）

第1小単元

「もっとたんけんして、なかよしになろう」

- ・春の町探検を思い出す
- ・グループごとに探検の計画を立てる

第2小単元

「町をたんけんしよう」

- ・グループごとに町を探検する
- ・身近な人にインタビューする
- ・発見したことを伝え合う

第3小単元

「町の大すきをつたえあおう」

- ・大好きなことを伝える方法を考える
- ・わたしたちの町大すきランドを開く

第4小単元

「今までのたんけんをふりかえろう」

- ・春と秋の町探検を振り返る
- ・探検カードを使って、町の〇〇をつくる

■小単元の概要

春の町探検やこれまでの出来事を振り返り、町探検への興味・関心を高めながら町探検グループを編成する。グループでの対話を通して、行ってみたい場所や見学やインタビューしたいことなどを計画する。

グループごとに町探検に行き、町で生活する人や商店などで働く人などにインタビューする。不思議なことや発見したことを、自分や同じグループの友達、教師が撮影したクラウド上の様々な写真を使って、友達と伝え合う。

町の大好きを知らせたい思いや願いの実現に向け、絵本、紙芝居、劇などの表現方法を考え、友達同士で町を探検しているように楽しみながら町の大好きを紹介し合う。

春と秋の町探検やそれを伝え合ったことを振り返り、町の場所や人、出来事が自分にとって関わりがあることに気づき、これからも町となかよくなるようにする。

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（第2小単元）

【学習活動の場面】

クラス全体で撮影した写真を使って、発見したことを友達に伝える活動を行う。教師は「町探検したことをペアになって友達に伝えましょう。気付いたことを先生やグループの友達が撮影した写真も見ながら話しましょう。」と投げかけ、さらに「交流すると、もっと町のことが分かりそうだね。」と目的を明確にした。

【子供の「深い学び」の姿】

最初、Aは端末で写真をBに見せながら、町探検で最も心に残ったコーヒー屋の様子について紹介した。

A「これが乾いたコーヒー豆で、これを潰してコーヒーの粉にします。この写真を並べてみると、色も形も全然違うことが分かるでしょ。」と説明した。

B「コーヒーになるまでに色んなことをしているんだね。**僕が探検した八百屋のHさんは、お客さんに旬な野菜の食べ方を笑顔で話していたよ。**」と伝えた。

Bの「笑顔」という話を聞いたAは、コーヒー屋や他のお店でも笑顔の店員がいたことを思い出し、「**お店の人は笑顔で接客していることが多いかも。**」とつぶやいた。そして、教師や同じグループの友達が撮影した笑顔の写真を再度探して見付け、それらを見せながら、

A「**コーヒー屋のYさんも笑顔でお客さんと話していたよ。**お客さんにコーヒーの好みを聞いて美味しい豆を選んでいるんだって。Yさんはお客さんがコーヒーの匂いを嗅いで笑顔になる時が嬉しいと言っていたよ。**他のお店でも笑顔の店員さんがいたよ。YさんもHさんも私たちの町の店員さんは皆、色々な工夫をしながら、笑顔でお客さんと接して、お客さんが気持ちよく買物ができるようにしているね。私たちの町のよいところだね。**」と語った。

【当該指導での「深い学び」】

Aは、Bとの対話から、八百屋もコーヒー屋も、笑顔で接客していることに気付いた。またクラウド上の様々な写真を手掛かりにして振り返り、多くの店舗の店員が品物売る工夫だけでなく、笑顔で接客していることに気付いた。このようにして、**「笑顔」に象徴される相手を思いやる行為や態度によって、自分たちの生活が豊かなものになるよう支えられていることをさらに実感し、自分たちの町のよさを再認識することにつながった。**



■指導上の工夫とICTの利活用

①全体で伝え合いを行うイメージをもつ。

* 伝え合いを行う場面をイメージしやすいように説明することで、期待感を高める。

②クラウド上の写真を必要に応じて活用できるような伝え合い活動とする。

* 用意したプレゼン資料だけで説明するのではなく、ペアの質問に応じて、自分や同じグループの友達、教師の撮影した写真も振り返ることができるよう、クラウド上で写真を共有しておく。これによって、対話の中で気付いた事柄に応じて、いつでも写真を振り返ることができ、町探検での気付きを深めることにつながる。

③友達との伝え合い活動を生かし、感じたり考えたりしたことを説明する。

* 伝え合うことで、一人では気が付かなかったことに気付いたり、それぞれが気付いたことを関連付けたりできるように、感じたことや考えたことも伝え合う活動とする。

学習指導要領や解説との関連

学習指導要領 第5節 生活

第2の2の(3)

(3) 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。

第3の2の(2)

(2) 身近な人々，社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに，それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて，言葉，絵，動作，劇化などの多様な方法により表現し，考えることができるようにすること。また，このように表現し，考えることを通して，気づきを確かなものとしたり，気付いたことを関連付けたりすることができるよう工夫すること。